

一般介護予防事業で、シルバーリハビリ体操の普及とありますが、本来60歳以上の方が資格をとり、高齢者との互助で行っていくものだと思いますが、学生にもこれらの体操の重要性を知っていただき、積極的に老人クラブなどとの交流を図れないものでしょうか。

また、認知症サポーターも、学生の皆様にぜひ取得していただき、地域全体で認知症の方を支えていくことはできないものでしょうか。

ぜひ、市の事業で地域社会の福祉分野に貢献できる学生の育成を行っていただきたいです。

【市の考え方】

学生を含めた若年層と高齢者との交流は可能と考えます。

また、認知症サポーター養成講座は、学生の方も取得可能です。市や関係機関において講座を開催しておりますので、その際はぜひ参加をお願いします。

【意見3】

「生きがい活動支援事業について」

互助という考え方が今後の地域社会にとって重要な考えであることは知られており、高齢者クラブ事業やシルバー人材センター事業は、試みとして素晴らしいと思います。

しかし、これらの事業を市のホームページで検索しても、具体的な項目は出てきません。

高齢者クラブは25年度現在で79クラブあるようですが、1つ1つの団体はどのような活動をしており、また参加を促す告知をしているのでしょうか。

シルバー人材センター事業は、訪問介護の生活支援に変わる重要な事業と思われませんが、事業の拡大のための具体的な案はどのようなものがあるのでしょうか。

少なくとも市のホームページで確認出来る必要があると思います。

また、高齢者が積極的にホームページを活用して検索するとは考えにくいので、市の掲示板や回覧板などでの積極的な広報活動が必要と思われませんが、具体的な施策はあるのでしょうか。

【市の考え方】

高齢者クラブは、各クラブ単位で自主運営により活動しており、会員加入についても各クラブの活動の中で行っております。

シルバー人材センターについては、介護分野における事業を、今後協議してまいります。

また、広報手段については、従来の広報紙やホームページのほか、関係機関と連携し、見守り等の中で対応を図っていきたいと考えています。

【意見4】

「生涯学習事業に関して」

第6期介護保険事業には、ジョギングやレクリエーション活動、スポーツなどの推進とありますが、具体的にどのような活動を行ったのかは、どこを調べればわかるのでしょうか。

また、これらの活動の広報を行い、参加者をさらに増やすことが必要かと思えます。

さらに、これら活発な高齢者のみでなく、虚弱高齢者にこそ積極的な外出機会が重要と考えられますが、虚弱高齢者に対する活動というものはあるのでしょうか。

また、そういう方こそ引きこもりになりがちで情報の入手が困難になりやすいと思われませんが、どのような広報を行っていくのでしょうか。

【市の考え方】

公民館等での各種講座・教室に自主的に参加することにより、個々のいきがいと健康づくりに向けて取り組んでいただきたいと考えております。

虚弱高齢者に対する活動については、シルバーリハビリ体操指導士による体操教室があります。

また、広報手段としては、従来の広報紙やホームページのほか、関係機関と連携し、見守り等の中で対応を図っていきたいと考えています。